

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	毎年2回消防・避難訓練を行っているが、コロナ禍という事もあり、消防や地域住民の方の協力・連携が最近は行えていない。運営推進会議の書面審議や行政への協力体制の相談は行っているが、未だ未整備のままである。	災害対策へ地域の協力体制が構築され、実践を想定しての訓練が実施できる。また、運営推進会議が再開出来れば、災害訓練も併せて実施できるようになれば良い。	まずは行政や区長様等から地元消防団の方を紹介又は連絡網整備を相談し、直接協力依頼を行う。協力体制の構築が出来たら災害訓練時の参加を発信、依頼する。また、災害に備え安全チェックの継続を続ける。	4ヶ月
2	49	コロナ禍でご利用者に対して年間行事の外出や気分転換の外出を、コロナ感染状況によっては満足に行えていない時もある。時間帯や人の密集地を避けたり等で行ってはいるが、どうしても外出不可の場合に違う方法での楽しみ方も必要になる。	基本的に外出行事が出来るよう工夫をしながら行っていくが、コロナ禍の影響、人員確保の困難も考えられる為、外出できない場合も季節に合わせた外出にいったつもりで楽しめる事が出来る。	映像や情報を集め視覚や聴覚で楽しんで頂き、可能であれば土地の物を用意し実際に触れたり食したりする事で触覚や味覚、臭覚を感じて五感を刺激し、外出できずとも楽しめる工夫などを検討していく。	3ヶ月
3	54	コロナ禍にてご家族様が施設内部への出入りが出来なくなっており、面会や職員からの状態報告、必要物品の依頼等のやり取りが中心となっている。行事等の報告は毎月の広報誌で行っているが、日々の生活状況や様子等は聞くだけで見る事が出来ていない。	言葉で聞くだけではなく、実際見る事でご家族様が利用者様の日々の生活も知れるようになり、入所生活をより安心して頂けるようになる。	部屋での様子うあ日々食されている食事、趣味に興じている様子などを可能な限り写真で撮ってご家族に見て頂く。	3ヶ月
4	6	職員へ身体拘束及び虐待防止の為の一環として、自己チェックリストを実施している。性別やサービスによってチェック項目に当てはまらないものがあるので、チェックリストの整備が必要である。	チェックリストを整備し、基本的なチェック項目はもちろん、日頃ケアを行っている中で不適切なケアも項目に含め、高速・虐待ゼロを目指す。	チェック項目の見直しを行う。定期的開催している検討会議でも職員の意見等を反映する。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。